

4. 研修時間割

4級（2日間）時間割					
第1日	9:30～12:30 講習	12:30～13:30 休憩	13:30～17:00 講習		
第2日	9:30～12:30 講習	12:30～13:30 休憩	13:30～14:50 講習	休憩	15:00～16:30 検定試験

3級（3日間）時間割					
第1日	9:30～12:30 講習	12:30～13:30 休憩	13:30～17:00 講習		
第2日	9:30～12:30 講習	12:30～13:30 休憩	13:30～17:00 講習		
第3日	9:30～12:30 講習	12:30～13:30 休憩	13:30～14:20 講習	休憩	14:30～16:30 検定試験

5. 受講料（テキスト代・消費税込）

4級 20,600円 3級 30,900円 4級・3級同時申込 51,500円

上記受講料のほか、申込書代金として100円が必要となります。

3級・4級同時申込で4級が不合格の場合には、3級受講料から事務手数料等を除いた額を為替にて返金いたします。

6. 合格発表

検定試験終了後、可否通知を本人宛に郵送致します。
4級・3級同時申込者の場合は、4級の可否通知で合格をご確認後、3級を受講していただくことになります。

7. 申込書の入手方法

4月26日（月）より1部100円（消費税込）で配布致します。
申込書の代金は受講料と共に払込みいただきますので、申込書入手時には不要です。

●入手方法は、下記(1)インターネット請求、または(2)郵送請求、もしくは基金窓口での配布となります。

(1) インターネットからの申込書請求方法

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/gyum2/>へアクセスして案内に従いご請求ください。
インターネットから請求された場合、申込書の送料を無料とさせていただきます。

(2) 郵送による申込書請求方法

以下に挙げる①、②を次の宛先へ郵送してください。（会社などでまとめて必要な場合にご利用ください。）

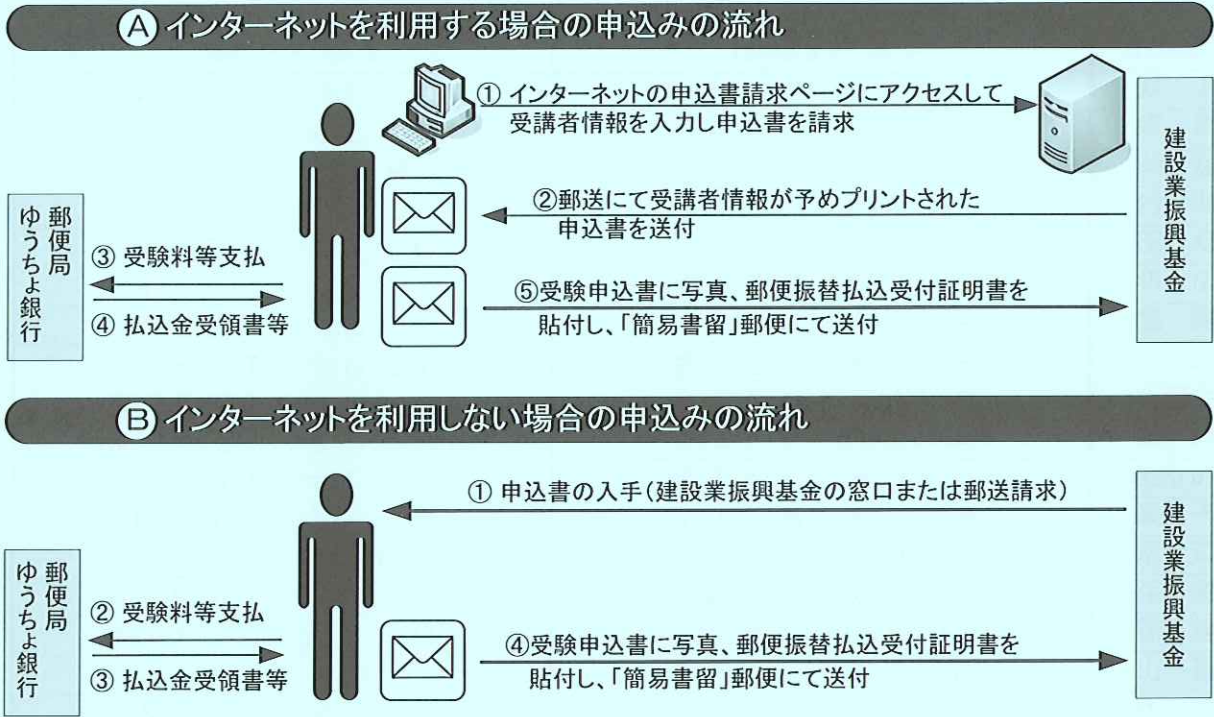
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12
(財)建設業振興基金 建設業経理検定試験センター 特別研修 係

- ①申込書送付依頼書
右頁の依頼書に必要事項を記入してください。
- ②送料分切手
部数に応じた送料分の切手(送料は右表参照)

申込書請求部数	送料(切手)
1部	120円分
2部	140円分
3～4部	200円分
5～7部	240円分
8～14部	390円分
15部以上	お問合せ下さい

郵送請求の場合、申込書がお手元に届くの1週間程度かかります。
申込書代金(100円)は当方からお送りする申込書に同封の払込用紙を用い、郵便局またはゆうちょ銀行で受講料と共に払込みいただきますので、申込書入手時には不要です。

8. お申込みの流れ



・ 事業主の方への重要なお知らせ

平成23年3月末までに開始する事業年度においては、一定の条件^{※1}を満たす中小企業が支払った教育訓練費用につき、その総額の8～12%^{※2}を税額から控除する、税制上の優遇措置が設けられています。

- ※1 ①資本金1億円以下で大企業の子会社等でないこと
②教育訓練割合($\frac{\text{教育訓練費}}{\text{給与等} + \text{法定福利費} + \text{教育訓練費}}$)が0.15%以上であること
- ※2 控除率(%) = 8% + (教育訓練割合 - 0.15%) × 40 (上限 12%)

＜切り取り線＞

平成22年度 3級・4級 特別研修 申込書送付依頼書

申込書送付先住所	〒 ー ー		
※ 勤務先に送付する場合は、会社名やビル名を必ず記入してください。			
お名前	様		
カナ氏名			
電話番号(日中ご連絡先)	ー ー		
申込書請求部数	部	送料(切手)	円分

太枠内を宛先として申込書をお送りします。

内容に不明な点があった場合に、お問い合わせ可能な電話番号をご記入ください。

申込書の請求部数及び送料(切手)をご記入ください。申込書代金は後払い(受講料と共に払い込み)のため不要です。

9. 実施都市・開催日

会場の定員を超えた場合は、別の開催日を設定する場合があります。
申込人数が極めて少ない場合には、開催を中止することがありますので予めご了承ください。

実施都市	4 級（2日間）	3 級（3日間）
札幌	8/3(火)～8/4(水)	9/13(月)～9/15(水)
青森	9/6(月)～9/7(火)	10/13(水)～10/15(金)
盛岡	7/23(金)～7/24(土)	9/2(木)～9/4(土)
仙台	8/4(水)～8/5(木)	10/4(月)～10/6(水)
秋田	8/26(木)～8/27(金)	9/27(月)～9/29(水)
山形	8/23(月)～8/24(火)	10/5(火)～10/7(木)
福島	8/25(水)～8/26(木)	9/28(火)～9/30(木)
水戸	8/19(木)～8/20(金)	10/6(水)～10/8(金)
宇都宮	9/16(木)～9/17(金)	10/20(水)～10/22(金)
前橋	9/13(月)～9/14(火)	10/20(水)～10/22(金)
さいたま	9/16(木)～9/17(金)	11/17(水)～11/19(金)
千葉	8/20(金)～8/21(土)	10/1(金)～10/3(日)
東京	8/26(木)～8/27(金)	10/13(水)～10/15(金)
横浜	9/7(火)～9/8(水)	10/19(火)～10/21(木)
新潟	9/7(火)～9/8(水)	10/12(火)～10/14(木)
富山	9/15(水)～9/16(木)	11/9(火)～11/11(木)
金沢	8/3(火)～8/4(水)	10/5(火)～10/7(木)
福井	9/2(木)～9/3(金)	10/13(水)～10/15(金)
甲府	9/2(木)～9/3(金)	10/6(水)～10/8(金)
松本	9/7(火)～9/8(水)	10/13(水)～10/15(金)
岐阜	11/4(木)～11/5(金)	12/13(月)～12/15(水)
静岡	9/9(木)～9/10(金)	10/6(水)～10/8(金)
名古屋	7/24(土)～7/25(日)	9/3(金)～9/5(日)
津	9/14(火)～9/15(水)	10/13(水)～10/15(金)
大津	9/15(水)～9/16(木)	11/9(火)～11/11(木)
京都	9/14(火)～9/15(水)	10/19(火)～10/21(木)
大阪	9/8(水)～9/9(木)	10/19(火)～10/21(木)
神戸	8/3(火)～8/4(水)	10/4(月)～10/6(水)
奈良	9/3(金)～9/4(土)	10/26(火)～10/28(木)
和歌山	9/10(金)～9/11(土)	11/11(木)～11/13(土)
倉吉	8/5(木)～8/6(金)	10/5(火)～10/7(木)
松江	8/3(火)～8/4(水)	9/15(水)～9/17(金)
岡山	9/10(金)～9/11(土)	10/26(火)～10/28(木)
広島	7/24(土)～7/25(日)	9/3(金)～9/5(日)
山口	8/25(水)～8/26(木)	11/9(火)～11/11(木)
徳島	8/3(火)～8/4(水)	9/8(水)～9/10(金)
高松	8/26(木)～8/27(金)	10/5(火)～10/7(木)
松山	8/23(月)～8/24(火)	10/18(月)～10/20(水)
高知	8/20(金)～8/21(土)	11/2(火)～11/4(木)
福岡	9/7(火)～9/8(水)	10/13(水)～10/15(金)
佐賀	9/7(火)～9/8(水)	10/13(水)～10/15(金)
長崎	9/8(水)～9/9(木)	10/19(火)～10/21(木)
熊本	8/24(火)～8/25(水)	10/5(火)～10/7(木)
大分	9/6(月)～9/7(火)	10/20(水)～10/22(金)
宮崎	8/4(水)～8/5(木)	9/27(月)～9/29(水)
鹿児島	9/9(木)～9/10(金)	10/13(水)～10/15(金)
浦添	8/11(水)～8/12(木)	9/27(月)～9/29(水)

建設業経理事務士特別研修は、(財)建設業振興基金のみが実施しているものです。申込手続の代行や本研修とまぎらわしい名称を用いた講習等を行う業者がありますが、(財)建設業振興基金とは全く関係ありません。受講申込は、本人が必ず(財)建設業振興基金あてに直接行うようにしてください。

平成22年度
3級・4級建設業経理事務士特別研修のご案内

建設業経理事務士特別研修(3級・4級)は、昭和59年より建設業会計に関する知識と処理能力の向上を図り、建設会社の経営基盤強化を目的として、(財)建設業振興基金が行っているものです。この特別研修は、講習と検定試験とを組み合わせることで実施するもので、研修最終日に行われる検定試験に合格すると、3級または4級建設業経理事務士の資格が得られます。
(平成22年3月時点の資格者数 3級資格者:25.3万人・4級資格者:18.6万人)

特別研修は、初歩の簿記の仕組みから、建設業固有の簿記・会計・原価計算を総合的に網羅して理解していただけるように考えております。特に、全く会計に関する知識がない方や、日常の事務処理は行っても再度基礎から学ぼうとされる方が独学で学習されるより、本研修を受講することで、その効果は極めて大きいものとなるはずです。また、新人社員の方はもとより、現場で従事する方、自社の財務諸表を読み解き経営の在り方を再構築しようとしている中小企業経営者の方も、本研修制度を活用することにより、必ずや会社の経営改善が進展する第一歩となるものと考えます。

1. 申込受付期間

平成22年5月10日(月) ～ 5月31日(月)

6月1日以降は定員に余裕がある場合に限り、追加で受付を行いますので、当基金ホームページをご覧ください。

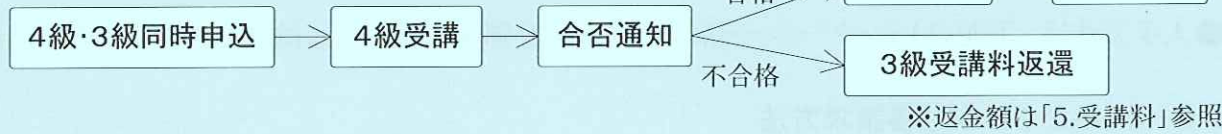
2. 受講資格

4級:どなたでも お申込みできます。

3級:建設業経理事務士 4級 有資格者

建設業経理事務士4級をお持ちでない方でも、同一年度で4級・3級の同時申込みが出来ます。

4級・3級同時申込者の受講の流れ



3. 研修内容

4級	簿記とは何か、なぜ大切かという段階から、複式簿記の仕組みを理解していただきます。 〈取引の仕訳〉→〈総勘定元帳への転記〉→〈試算表の作成〉→〈精算表の作成〉→〈決算書の作成〉までの一連の流れを親切で丁寧な講義によりわかりやすく、お教えします。
3級	建設工事の施工工程で発生する取引や、一般的な商取引に係る記帳処理上の問題点を解き明かすとともに、建設業の決算について、実務を踏まえた例題を多数用いて明らかにします。 特に重要である建設業の原価計算の基礎をこの段階で確実に理解していただくよう、親切に根気強く、お教えします。

【実施機関・お問合せ先】

財団法人 建設業振興基金 建設業経理検定試験センター

東京都港区虎ノ門4-2-12 TEL:03-5473-4581
<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/gyom2/>

協賛

(社)全国建設業協会・(社)全国中小建設業協会・(財)建設物価調査会・(財)経済調査会・北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)・専門工事業全国団体 その他建設業関係団体